

第四次江戸川区学校教育情報化推進計画（案）【概要版】

基本目標： 誰ひとり取り残さず、江戸川の子どもたちの資質・能力を育む ～高速通信ネットワークに接続された1人1台ICT端末の活用～

| 基本方針 |                        | 推進目標                                                         | 実現したいこと                                                      | 最終年度（令和11年度）の目標値                                                                                                                                                                             | 実施内容・具体的施策                                                                            |
|------|------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成  | 子どもたちが情報を収集、整理、発信、分析し、それを基に問題解決や意思決定を行う能力を向上                 | 児童生徒がICTを活用して思考力・判断力・表現力等を発揮し、他者と対話しながら問題発見・解決を日常的に行うようにする   | <ul style="list-style-type: none"><li>「児童生徒同士がやりとりする場面」で1人1台端末を「週1回以上」使用している児童生徒の比率が70%</li><li>情報モラルの授業を「学期に1時間以上」学習する児童生徒の比率が100%</li></ul>                                                | ①ICTを活用した思考力・判断力・表現力育成<br>②問題解決・探究における情報活用<br>③情報モラル・情報セキュリティ教育の推進<br>④プログラミング教育の推進   |
|      |                        | 共生社会実現に向けて、特別な配慮を要する子どもたちの教育を充実                              | 児童生徒一人一人の状況や個性に応じて、ICTを最適に活用した学習活動等を日常的に行うようにする              | <ul style="list-style-type: none"><li>以下のシーンで1人1台端末を「週3回以上」使用している児童生徒の比率<br/>【外国人児童生徒】100%<br/>【不登校児童生徒】70%<br/>【特別支援教育を受けている児童生徒】70%</li></ul>                                              | 以下の児童生徒に対する学習活動等の支援<br>①外国籍の児童生徒<br>②不登校や病気療養等の長期欠席の児童生徒<br>③特別な支援を要する児童生徒            |
|      |                        | 授業などでのICT機器の活用頻度を高める                                         | 全教員が授業にて日常的に、ICTを効果的に活用するようにする                               | <ul style="list-style-type: none"><li>1人1台端末を授業で「週3回以上」使用している児童生徒の比率が100%</li></ul>                                                                                                          | ①ICT研修の強化（授業設計ワークショップ形式）<br>②ICTを活用した思考力・判断力・表現力育成<br>③問題解決・探究における情報活用                |
| 2    | 教員のICT活用指導力の向上と人材の確保   | 教員がICTを活用して子どもたちの学習を支援する能力を高めることで効果的な授業を                     | 全教員が多様な学習場面において、児童生徒主体の効果的なICT活用を指導できるようにする                  | <ul style="list-style-type: none"><li>「児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する」に「できる」「ややできる」と回答した教員の比率が100%</li></ul>                                                    | ①ICT研修の強化（授業設計ワークショップ形式）<br>②ICTを活用した指導と評価の一体化<br>③情報モラル・情報セキュリティ指導力強化                |
|      |                        | 一人一人の理解度に合わせた効果的な学習や子どもたちが協力して深い理解や知識を創り出す学習にICT端末を活用        | 教員が授業等で日常的に個別最適な学びと協働的な学びを一体的にデザインする                         | <ul style="list-style-type: none"><li>協働的な学び（他者とのやりとりを通じて、児童生徒の深い理解を促す活動）で1人1台端末を週1回以上使用させている教員の比率が70%</li></ul>                                                                             | ①主体的・対話的で深い学びの実現<br>②ICT研修の強化（授業設計ワークショップ形式）<br>③教員悉皆の研究・公開授業の推進<br>④少人数習熟度別・課題別指導の導入 |
|      |                        | ICT支援員の活用により教員のICT活用を促進                                      | 全教員がICT支援員を活用して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うようにする               | <ul style="list-style-type: none"><li>ICT支援員による支援を受けて授業づくり（授業改善、授業での効果的なICT活用の案出し、他校でのICT実践事例の照会、授業で使用するデジタル教材の作成）をしている教員の比率が100%</li></ul>                                                  | ①ICT支援員によるICT研修の強化<br>②ICT支援員による授業づくり提案の推進<br>③主体的・対話的で深い学びの実現                        |
| 3    | ICTを安心・安全にいつでも使える環境の整備 | 端末や校内ネットワーク環境、大型提示装置等の学校ICT環境の整備を推進（ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの整備） | 質・量ともに十分な水準のハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの整備を図る                       | <ul style="list-style-type: none"><li>「GIGA端末に十分なソフトウェア・コンテンツが提供されている」と感じる教員の割合が80%</li><li>指導者用端末・大型提示装置等の機器が十分に整備されている」と感じる教員の割合が80%</li><li>「十分なネットワーク速度が確保されている」と感じる教員の割合が100%</li></ul> | ①次期GIGA端末の選定、配備<br>②指導者用端末・大型提示装置等の更新<br>③NW速度のアセスメントの実施、改善                           |
|      |                        | 教育の情報化を支える体制を充実（体制整備）                                        | 教員が学校の情報資産を取り扱う際に遵守すべき事項を理解し、適切に保護・利用するとともに、学校の情報セキュリティを向上する | <ul style="list-style-type: none"><li>重大インシデントの発生件数が0件</li><li>「情報セキュリティポリシーガイドライン等を理解している」教員の割合が100%</li></ul>                                                                              | ①情報セキュリティポリシーガイドライン等の見直し、運用<br>②情報化推進リーダーの位置づけの明確化<br>③「GIGAスクール研修」「ICT校内研修」の強化       |
|      |                        | 非常時等のICT活用体制を整備（臨時休業時等のICT活用）                                | 非常時にもICTを活用して必要十分な授業を継続することができるようにする                         | <ul style="list-style-type: none"><li>同時双方向型のウェブ会議システムを活用したオンライン学習 ICT環境の整備 100%<br/>全教員が実施可能な学校 100%</li></ul>                                                                              | ①非常時対応手順書・計画書策定<br>②非常時を想定した授業実施の訓練                                                   |
| 4    | ICT推進体制の整備と校務の改善       | ICTを活用した校務の効率化・事務作業負担の軽減を進める（校務DX）                           | 各小中学校の創意工夫を活かし、業務の実情に即したICTの活用を推進することで教員の負担軽減を図る             | <ul style="list-style-type: none"><li>「ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例（文部科学省WEBサイトで取り上げられているICTを活用した取組）」を十分に取り入れている学校の割合が70%</li></ul>                                                            | ①次世代校務システムの導入<br>②教育データ・校務データの連携推進<br>③校務へのICTの導入・活用                                  |
|      |                        | ICTを活用することにより教員が児童生徒と向き合う時間を増加（教員の時間創造）                      | 教員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保する                                       | <ul style="list-style-type: none"><li>「ICTの活用によって、学習指導など児童生徒と向き合う時間が前年度より増加した」と感じる教員の割合が70%</li></ul>                                                                                        | ①校務等へのICTの導入・活用                                                                       |
|      |                        | ICTを活用することにより教員のワーク・ライフ・バランスを向上（教員の働き方改革）                    | 教員の勤務時間を短縮し、特に、時間外勤務を抑制する                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>「ICTの活用によって、教員の校務にかかる時間や負担が前年度より軽減された」と感じる教員の割合が70%</li></ul>                                                                                          | ①校務等へのICTの導入・活用<br>②時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現<br>③働き方改革の意識向上                              |